

# 平成 26 年度秋田県計画に関する 事後評価

平成 27 年 6 月  
秋田県

### 3. 事業の実施状況

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO. 1】 秋田県医療連携ネットワークシステム推進事業	【総事業費】 300,000千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成30年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：秋田県医療連携ネットワークシステムに参画する地域の中核的病院数 (プラス12) アウトカム：中核的病院の参画に伴う当該地域における情報共有化の実施 (全県の参画医療機関数 17→200以上)	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○秋田県医療連携ネットワークシステムに参画する地域の中核的病院数：プラス1 (26年度事業着手、27年度完了予定分)	
事業の有効性と効率性	<p>(1) 事業の有効性 医療機関同士が患者の診療情報を共有できるネットワークシステムの利用可能地域が拡大することで、県内における地域包括ケアシステムの構築の促進、医療の地域間格差の解消等につながる。</p> <p>(2) 事業の効率性 地域中核病院におけるシステム構築の着手段階から、連携対象となる周辺診療所とともにネットワーク体制整備の準備を進めることで、地域が一体となった効率的な事業推進が図られており、今後、事業を進める同規模地域の先行的事例となっている。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 2】 在宅医療推進協議会設置運営事業	【総事業費】 124千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：県内の在宅医療推進協議会の設置数（9） アウトカム：在宅看取りを実施している医療機関数 (人口10万対 診療所 3.1→3.6以上、病院 0.4→0.7以上)	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○在宅医療推進協議会設置数：1	
事業の有効性と効率性	<p>(1) 事業の有効性 各郡市医師会の代表者が出席し、各地域の在宅医療の取組の進捗度、在宅医療の重要性の認識の温度差、課題等について、共通の認識を持つことができ、今後、各郡市医師会においても、協議会の議論を基に在宅医療の取組が推進されることが期待される。</p> <p>(2) 事業の効率性 県医師会の在宅医療推進協議会で、在宅医療の取組状況、課題、協議会の重要性を共有した。このことにより、特に在宅医療の取組が進んでいない地域での効率的な在宅医療の推進につながるものと考えられる。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 3】 休日在宅医療当番医支援事業	【総事業費】 31,590千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成30年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：在宅看取り体制等を構築する郡市医師会数 (9) アウトカム：在宅看取りを実施している医療機関数 (人口10万対 診療所3.1→3.6以上、病院 0.4→0.7以上)	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○在宅医療当番医支援事業実施地域数：1	
事業の有効性と効率性	(1) 事業の有効性 介護施設等での在宅療養患者の休日の容態急変に対応できる体制を構築したことにより、在宅医療の推進につながる。  (2) 事業の効率性 事業の実施に当たり、各関係施設等との調整、患者情報の共有における問題点など、他の地域で同事業を実施するに当たり有用なノウハウを得ることができた。	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 4】 在宅療養支援診療所等機能強化事業	【総事業費】 119,177千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成30年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：在宅医療を提供するために、当該補助により機器整備を行った診療所数 (36) アウトカム：在宅療養支援診療所数 (人口10万対 7.2→10.2以上)	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○当該補助により機器整備を行った医療機関等数：25 ○在宅療養支援診療所数：人口10万対 7.7 (平成27年4月現在)	
事業の有効性と効率性	(1) 事業の有効性 在宅医療に必要な医療機器の整備について支援したことで、在宅医療を提供する医療機関の機能を強化することができた。また、郡市医師会が貸出用として整備する医療機器について補助したことで、在宅医療に取り組む診療所が増加することが期待される。  (2) 事業の効率性 診療所に対する補助だけでなく、郡市医師会が地域に貸し出す医療機器について補助することで、効率的な補助の実施ができたと考える。	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 5】 在宅歯科医療連携室設置運営事業	【総事業費】 685千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：県歯科医師会に在宅歯科医療連携室を設置（1） アウトカム：在宅療養支援歯科診療所数（人口10万対 3.7→3.8以上）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○在宅歯科医療連携室設置数：県歯科医師会1、郡市歯科医師会9 ○在宅療養支援歯科診療所数：人口10万対 5.1（平成27年4月現在）	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 各郡市医師会及び県歯科医師会において、連携室が設置され、在宅歯科医療を望む県民及び在宅歯科医療に取り組む歯科診療所を支援する体制を構築することができた。  （2）事業の効率性 連携室を郡市歯科医師会と県歯科医師会に設置し、歯科医療機器の貸付など各地域で実施したほうがよい取組、広報等広域で実施したほうがよい取組をそれぞれ分担することで効率的な連携室の運営が期待できる。	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 6】 在宅療養支援歯科診療所等機能強化事業	【総事業費】 149,239千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成30年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：在宅歯科医療を提供するために、当該補助により機器整備を行った歯科診療所数（40） アウトカム：在宅療養支援歯科診療所数（人口10万対 3.7→3.8以上）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○当該補助により機器整備を行った歯科診療所等数：38 ○在宅療養支援歯科診療所数：人口10万対 5.1（平成27年4月現在）	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 在宅医療に必要な医療機器の整備について支援したことで、在宅歯科医療を提供する診療所の機能を強化することができた。また、郡市歯科医師会が貸出用として整備する医療機器について補助したことで、在宅歯科医療に取り組む歯科診療所が増加することが期待される。  （2）事業の効率性 歯科診療所に対する補助だけでなく、郡市歯科医師会が地域に貸し出す医療機器について補助することで、効率的な補助の実施ができたと考える。	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 7】 在宅歯科診療従事者養成事業	【総事業費】 5,225千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成30年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：医科歯科研修会参加者数（年間100人） アウトカム：在宅療養支援歯科診療所数（人口10万対 3.7→3.8以上）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○研修会参加者数：59人 ○在宅療養支援歯科診療所数：人口10万対 5.1（平成27年4月現在）	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 座学に加え実技形式でのプログラムも実施し、より実践的な知識・技術の修得を県内歯科診療従事者に広めることができ、各地域の在宅歯科診療の推進につながる取組となった。  （2）事業の効率性 26年度に実施した県央地域の研修会のノウハウを活用し、27年度以降に実施する他地域の研修会において、効率的な開催が可能であると考えます。	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 8】 在宅医療への薬局薬剤師参画推進事業	【総事業費】 15,179千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成30年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：ケアマネ合同研修会参加者数（年間200人） アウトカム：訪問薬剤管理指導届出施設数（人口10万対 38.3→38.4以上）	
事業の達成状況	平成26年度においては ○在宅薬局ノウハウ研修会参加者数：209人 ○在宅医療ケアマネ等多職種研修会参加者数：59人 ○訪問薬剤管理指導届出施設数：人口10万対 44.4（平成27年4月現在）	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 本事業により、薬剤師の在宅医療への理解、他の職種及び薬剤師間との連携が深まるとともに、在宅相談窓口薬局も今後の増加が期待され、薬剤師の在宅医療への参画が推進されたと考えられる。  （2）事業の効率性 研修会は、介護保険講習会等と併せて開催するなど事業の効率化に努めた。	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 9】 在宅医療への理学療法士参画推進事業	【総事業費】 2,232千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成30年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：地域包括ケア研修会参加者数（年間30人） アウトカム：訪問リハビリテーション事業所数（人口10万対 2.1→2.5以上）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○包括的介護予防プログラム等を内容とした講演会参加者数：187人	
事業の有効性と効率性	<p>（1）事業の有効性 効果的なプログラムを企画提案する理学療法士を育成することを目的とした講演会であり、知識や実践的技術を修得することができた。</p> <p>（2）事業の効率性 講演会には理学療法士のほか作業療法士、保健師、看護師、ホームヘルパー、一般県民も参加しており、在宅医療従事者間の連携を図ることができた。また、講演会と併せ、県民向けに予防運動をテーマとした公開講座を開催し、効率的に行われたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 10】 退院調整看護師等養成事業	【総事業費】 6,346千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成30年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：退院調整看護師養成研修会参加者数（年間15人） アウトカム：退院支援担当者を配置している病院、有床診療所数 （人口10万対 1.9→2.8以上）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○退院調整看護師養成研修参加者数：66人 ○病棟・訪問看護師交流研修参加者数：10人 ○在宅医療に関わる保健師育成研修参加者数：59人	
事業の有効性と効率性	<p>（1）事業の有効性 退院調整看護師養成研修では予想を超える参加者があり、関心の高さと研修ニーズが確認された。各施設担当者の交流・情報交換できる関係が構築され始め、在宅医療従事者間の連携が進んだ。</p> <p>（2）事業の効率性 県内全域から多くの参加者が集まり研修が開催され、全国や秋田県内の先行事例等、少ない開催で様々な取組状況等を共有することができた。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 1 1】 在宅医療・訪問看護推進事業	【総事業費】 2,047千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：訪問看護師養成研修会参加者数（年間15人） アウトカム：訪問看護ステーション施設数（人口10万対 3.6→4.0以上）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○訪問看護師養成研修会参加者数：10人 ○訪問看護ステーション施設数：人口10万対 4.7（平成27年4月現在）	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 今後需要が増す在宅医療において必要とされる訪問看護を担う医療従事者の資質向上を図ることができた。  （2）事業の効率性 集合研修により、参加者が、訪問看護業務の知識・技術の習得のほか、参加者同士の情報交換で、各施設の知見・ノウハウを相互に活用できるなど、効率的な研修が実施できた。	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 1 2】 有床診療所支援事業	【総事業費】 165,907千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成30年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：在宅医療を提供するために、当該補助により施設・設備整備を行った有床診療所数（16） アウトカム：有床診療所数（人口10万対 7.4→7.5以上）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○当該補助により施設・設備整備を行った有床診療所数：2 （26年度事業着手、27年度完了予定分） ○有床診療所数：人口10万対 6.5（平成27年4月現在）	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 在宅医療に取り組む有床診療所が行う施設・設備の整備に対して補助を行うことにより、在宅療養患者の受入体制の改善を図り、良質かつ適切な在宅医療を提供する体制の構築につながる。  （2）事業の効率性 本事業の実施により、在宅療養患者の受入体制の改善が図られ、在宅医療提供体制に向けた整備がより一層推進される。	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 1 3】 医療・介護・福祉連携促進事業	【総事業費】 3,112千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：意見交換市町村数（25） アウトカム：医療・介護・福祉関係者との協議の場を設定する市町村数（21→25）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○意見交換市町村数：25 ○医療・介護・福祉関係者との協議の場を設定する市町村数：21 (平成27年4月現在)	
事業の有効性と効率性	<p>(1) 事業の有効性 医療・介護・福祉の関係団体の取組についての情報共有を通じて、関係者間の共通認識が図られ、また、市町村との意見交換を通じて、各市町村の地域包括ケアシステムの現状と今後の取組等の把握とともに、多職種連携についての取組の働きかけにより、市町村担当者の意識の高揚につながった。</p> <p>(2) 事業の効率性 各市町村での意見交換の内容をとりまとめ、全市町村へ情報発信したことにより、他の市町村の取組状況が情報共有されるとともに、市町村間の比較検討も可能となった。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 1 4】 地域医療支援センター運営事業	【総事業費】 55,423千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：修学資金貸与医師・医学生数（160人） アウトカム：県内の病院における医師数 (秋田大学除く 1,299人→H27:1,357人、H32:1,488人)	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○修学資金貸与医師・医学生数：148人 ○県内病院の医師数（秋田大学除く）：1,313人（平成26年10月現在）	
事業の有効性と効率性	<p>(1) 事業の有効性 本事業の実施により、大学と県が連携した地域循環型キャリア形成支援システムの構築に向けた取組が行われており、修学資金貸与医師を中心とした若手医師のキャリア形成支援が進んでいるものとする。</p> <p>(2) 事業の効率性 既存の秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センターを活用することにより、質の高い各種セミナーを効率的に実施することができた。</p>	
その他		



事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 15】 産科医等確保支援事業	【総事業費】 44,786千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：分娩手当を支給する医療機関数（21） アウトカム：県内の病院における産科医師数 （秋田大学除く 60人→H27:60人、H32:62人）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○分娩手当支給医療機関数：21 ○県内病院産科医師数（秋田大学を除く）：63人（平成26年10月現在）	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 本事業の実施により、産科医等の処遇改善が図られ、産科医師数の増加に繋がっていると考える。  （2）事業の効率性 分娩取扱医療機関が所在する7市において上乗せ助成を実施しており、事業の効率が上がっている。	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 16】 県内女性医師確保推進事業	【総事業費】 3,035千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：女性医師相談窓口のホームページ閲覧件数（年間1,000件） アウトカム：県内の病院における医師数 （秋田大学除く 1,299人→H27:1,357人、H32:1,488人）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○ホームページ閲覧件数：909件 ○県内病院の医師数（秋田大学を除く）：1,313人（平成26年10月現在）	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 相談窓口の設置により、女性医師が安心して働ける環境を整備するとともに、啓発事業等の実施により女性医師支援に対する県内各機関の理解や連携が強化され、女性医師の離職防止、キャリア形成支援につながっている。  （2）事業の効率性 県医師会が保有する女性医師支援に関する組織や人材を活用することにより、効率的な事業運営が実施できている。	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 17】 小児救急電話相談事業	【総事業費】 9,460千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：小児救急電話相談利用率（年間件数／当該年度の住民基本台帳の14歳以下人口）（1.23%） アウトカム：県内の病院における小児科医師数 （秋田大学除く 63人→H27:65人、H32:66人）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○小児救急電話相談：1,382件 ○県内の病院における小児科医師数（秋田大学を除く）：67人（平成26年10月現在）	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 救急電話相談で、受診の必要性及び受診の時期等について助言を行うことで、県内医療機関のコンビニ受診の抑制及び過度な受診控えによる重症化の防止に貢献していると考ええる。  （2）事業の効率性 地元紙や地元子育て誌に協力を依頼し、無償で相談室の案内を掲載するなど工夫をしている。広報経費は減少傾向にあるが、相談件数は増加しているため、効率的な広報ができていると考える。	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 18】 鹿角地域医療推進学講座設置事業	【総事業費】 150,000千円
事業の対象となる区域	大館・鹿角区域	
事業の期間	平成27年4月～平成32年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：教員数（2名） アウトカム：大館・鹿角医療圏の病院における医師数 （秋田大学除く145人→H27:153人、H32:168人）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○寄附講座設置に関する協定締結における教員数：2名 （事業は平成27年4月以降に順次実施） ○大館・鹿角医療圏の病院における医師数（秋田大学を除く） ：136人（平成26年10月現在）	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 本寄附講座の設置により、鹿角地域の中核病院であるかづの厚生病院における若手医師の人材育成や多職種連携のための教育が行われることから、鹿角地域の医療向上につながる事が期待できる。 （2）事業の効率性 かづの厚生病院の所在地である鹿角市のほか、隣接する小坂町が協定に加わり、鹿角地域が一体となった事業推進体制により、効率的な事業運営が図られる。	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 19】 病院内保育所施設整備事業	【総事業費】 202,743千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成29年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：医療従事者の確保のために、当該補助により病院内保育所施設を整備した病院数 (2) アウトカム：県内の病院における看護師充足率 (96.2%→100%)	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○当該補助により病院内保育所施設を整備した病院数：2 (26年度事業着手、27年度以降完了予定分)	
事業の有効性と効率性	(1) 事業の有効性 病院内保育所整備により、夜勤、休日勤務を伴うなどの理由で、安定的な確保が難しい看護師等の離職を防止することができる。  (2) 事業の効率性 当事業の実施により、看護師、女性医師等の医療従事者の確保のほか、県の最重要課題である少子化対策にも寄与するため、効率的な事業展開が図られている。	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 20】 ナースセンター機能強化事業	【総事業費】 363千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成27年3月 (毎年度実施) <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：ナースバンク事業による就業者数 (年間200人以上) アウトカム：県内の病院における看護師充足率 (96.2%→100%)	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○ナースバンク事業による就業者数：248人	
事業の有効性と効率性	(1) 事業の有効性 求人、求職件数の多いハローワークと連携することで、きめ細やかな職業相談・職業紹介等の就職支援が可能となり、マッチングの増加につながる。  (2) 事業の効率性 各地域のハローワークでの出張相談を実施することで、利用者にとっては同一窓口での相談が可能となるほか、ナースセンターにとっては、知名度を高めることになるため、効率的な事業展開が図られていると考える。	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 2 1】 病院内保育所運営支援事業	【総事業費】 69,273千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：医療従事者の確保のために、当該補助により病院内保育所施設を運営した病院数（6） アウトカム：県内の病院における看護師充足率（96.2%→100%）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○当該補助により病院内保育所施設を運営した病院数：6	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 病院内保育所整備により、夜勤、休日勤務を伴うなどの理由で、安定的な確保が難しい看護師等の離職を防止することができる。  （2）事業の効率性 当事業の実施により、看護師、女性医師等の医療従事者の確保のほか、県の最重要課題である少子化対策にも寄与するため、効率的な事業展開が図られている。	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 2 2】 看護師等養成所運営支援事業	【総事業費】 649,639千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：医療従事者の確保のために、当該補助により看護師等養成を行った施設数（5） アウトカム：県内の病院における看護師充足率（96.2%→100%）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○当該補助により看護師等養成を行った施設数：5	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 本事業の実施により、財政状況の厳しい民間立看護師等養成所の教育の質を下げることなく運営が維持されている。  （2）事業の効率性 県内民間立養成所の看護師国家試験の合格率は非常に高く、質の高い看護職員を確保するため県内養成所の運営を安定させることは重要であり、目標達成に貢献している。（県内民間立養成所の看護師国家試験の合格率：99.4%、全国平均：97.4%）	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 23】 看護職員再就業促進事業	【総事業費】 1,452千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：再就業研修受講者数（年間10人） アウトカム：県内の病院における看護師充足率（96.2%→100%）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○再就業研修受講者数：10人	
事業の有効性と効率性	<p>（1）事業の有効性 看護職員の充足に向けては、潜在看護職員の再就業の促進を図ることが必要不可欠であり、看護実践力を高め再就業への自信につながる当研修の実施は有効である。</p> <p>（2）事業の効率性 就業相談を実施するナースセンターや連携するハローワークと情報共有しながら当事業を実施することで、事業の効率が上がったと考える。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 24】 看護職員就労環境改善事業	【総事業費】 4,358千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：相談者数（年間100人） アウトカム：県内の病院における看護師充足率（96.2%→100%）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○相談者数：170人	
事業の有効性と効率性	<p>（1）事業の有効性 看護職員の安定確保のため、総合的な対策が必要であり、当事業での多様な勤務形態の導入・整備に関する研修等の開催、就労に関する様々な悩みに対応する総合窓口の設置などにより、看護職員の離職防止、復職につながった。</p> <p>（2）事業の効率性 医療機関の先行事例を活用した管理者等向けの導入研修等を実施したことで、医療機関同士の情報の共有化が図られ、効率的な事業展開となった。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 25】 新人看護職員研修事業	【総事業費】 30,941千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：新人看護職員研修実施病院数（28） アウトカム：県内の病院における看護師充足率（96.2%→100%）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○新人看護職員研修実施病院数：27	
事業の有効性と効率性	<p>（1）事業の有効性 新人看護職員が基本的な臨床実践能力を獲得するための研修を実施することにより、早期離職防止につながり、看護師の安定的な確保につながる。</p> <p>（2）事業の効率性 看護職員確保対策としての側面のほか、研修実施による看護職員の資質向上、医療安全の確保にもつながっている。また、自施設で研修を完結できない医療機関等の新人看護職員を集めた研修会を県で実施するなど、効率的な事業展開が図られている。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO. 26】 看護職員資質向上研修事業	【総事業費】 3,072千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：実習指導者研修受講者数（年間40人） アウトカム：県内の病院における看護師充足率（96.2%→100%）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○実習指導者研修受講者数：26人	
事業の有効性と効率性	<p>（1）事業の有効性 県内看護職員の資質向上を図るための研修を実施し、県民の医療・看護に対するニーズに的確に応えることができる看護職員を育成するとともに、知識・技術と併せコミュニケーション能力等職場環境に順応できる能力を身につけることで、離職防止、確保・定着に結びつく。</p> <p>（2）事業の効率性 他病院の職員との合同研修によるため、研修による知識・技術等の習得のほか、各医療機関同士の情報の共有化も図られる。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.27】 歯科衛生士確保対策事業	【総事業費】 63,007千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：歯科衛生士養成所数（1） アウトカム：県内の歯科衛生士数（人口10万対 80.6→80.6以上）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○当該補助により歯科衛生士養成を行った施設数：1	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 本事業を実施することにより、歯科衛生士養成所の経営安定と県内に定着する歯科衛生士の育成確保につながる。  （2）事業の効率性 在宅歯科医療や口腔ケア等の需要の高まる中で、歯科衛生士の資質向上及び量的充足を図るには、養成所の運営を安定・継続的に支援することが効率的と考える。	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.28】 薬剤師確保対策事業	【総事業費】 2,816千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成27年1月～平成29年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：模擬体験受講者数（年間180人） アウトカム：県内の薬剤師数（人口10万対 181.0→219.6以上）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○認定薬剤師講習会（腎臓病薬物療法学会認定）認定者数：158人 ○専門薬剤師講習会（関節リウマチと生物学的製剤の感染リスク）参加者数：40人	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 県内薬剤師への専門性が高いスキルアップ機会の増加により、県内薬剤師の定着や県内就職への選択の促進につながったと考える。  （2）事業の効率性 認定薬剤師講習会において、講師に県内専門家を起用し、研修費用を抑えるとともに、できるだけ多くの薬剤師に参加してもらうため、短期間に複数回（4回）の開催とした。	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.29】 勤務環境改善支援センター設置事業	【総事業費】 379千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の期間	平成26年4月～平成27年3月（毎年度実施） <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	アウトプット：勤務環境改善支援センターの設置（1） アウトカム：勤務環境改善計画を策定し、勤務環境改善に取り組む病院数（0→74）	
事業の達成状況	平成26年度においては、 ○勤務環境改善支援センターの設置：1（27年4月設置） ○先行的に支援する医療機関の選定・承諾：2医療機関	
事業の有効性と効率性	（1）事業の有効性 本事業の実施により、秋田県の全域の医療機関が医療従事者の確保・定着を図るためには、勤務環境を改善する必要があるということを認識することができた。  （2）事業の効率性 県内の医療機関におけるニーズを把握することにより、勤務環境の改善計画の作成及び実施するために先行して支援する医療機関を選定することができた。	
その他		